

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 多次元検出器使用における強度変調放射線治療線量検証の検討

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 加藤由明 (画像診断部・診療放射線技師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：実施承認後～2019年11月30日

目的：強度変調放射線治療 (以下IMRT) は、治療計画装置の計算精度や治療装置の機械的、線量的な照射精度が十分でない場合、計画とは異なる線量投与が行われる危険性がある。そのためガイドラインではIMRTを患者に実施する前に、線量検証を行うよう定められている。しかしながら線量検証自体の判断基準は決められたものがなく、各施設の判断に委ねられていた。2018年2月に米国医学物理学会からIMRT線量検証の判断基準と方法に関して Task Group No. 218が発行された。そこで本研究では、当院で行われているIMRTの線量検証の判断基準が妥当であるかを検討する。

方法：後ろ向き観察研究

■ 対象となる患者さん

2018年2月～2019年1月に当院で強度変調放射線治療 (IMRT) を受けた方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：通常診療時に取得した情報 (治療計画画像) 等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

加藤 由明・画像診断部

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971